

情報をいち早く伝える



▲「台風災害特報」第1号

市内の台風による被害状況をいち早く全市民に伝える手段として、広報紙の特別号が台風直撃3日後の9月29日から10月7日までの9日間で計4回発行されました。

この「台風災害特報」では、市内の被害状況をはじめ、市災害対策本部の動き、電気などの復旧予定、仮設住宅の案内なども速報しました。

■伊勢湾台風による住宅の被害

	全壊(戸)	半壊(戸)
太田	29	114
古井	37	53
山之上	21	24
蜂屋	32	65
加茂野	22	51
伊深	6	13
三和	2	5
下米田	45	150
合計	194	475

量は、88ミリに達しました。この台風による市内の被害は、死者6人、重軽傷者66人、行方不明者1人、住宅の全半壊669戸の壊滅的なものでした。とくに、太田地区と下米田地区では、住宅の全半壊が多く記録されています。

伊勢湾台風50年 写真展

市では台風直撃当時の市内の写真や広報紙の記事を展示し、伊勢湾台風の被害と復興の日々を振り返る写真展を企画しました。ぜひ、ご覧ください。

◇とき 9月1日(火)～11日(金)

午前8時30分～午後5時15分

◇ところ 市役所玄関ロビー ※土・日曜はお休みです

災害に備えるために

「災害は忘れたころにやってくる」といわれます。自然災害を防ぐことはできないかもしれませんが、その被害を最小限にとどめることはできます。そのために大切なことが日ごろの防災意識です。

もし、大規模な災害が発生した場合、防災関係機関などは、総力をあげて災害応急活動に取り組みます。

しかし、地震などの場合、火災や道路の寸断、断水や電力供給のストップなどが同時に広範囲で発生する恐れがあり、防災関係機関や、市の対応にも限界がでてきます。

そんな時、地域の皆さんが自主的・組織的に消火や救出、救護などの防災活動を行うことで災害による被害を最小限に抑えることができます。このような防災活動を行う組織を「自主防災組織」といいます。「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、地域の

防災活動を効果的に行うための組織です。自治会や地域の皆さんで声を掛け合い、自主防災組織を結成し、災害発生時の役割分担などの体制を整えておくとともに、各家庭で非常持出品などを準備し、大規模な災害に備えましょう。伊勢湾台風をはじめ、過去の自然災害を、この機会にもう一度振り返り、日ごろから防災意識の向上に努めることが大切です。

■非常持出品の準備

すぐに持ち出せる場所に備えておきましょう。

01	3日分の水	09	タオル、手袋
02	3日分の食料	10	ティッシュなど
03	現金	11	携帯ラジオ
04	通帳、印鑑	12	免許証などのコピー
05	緊急衣料品	13	石けん、シャンプー
06	懐中電灯	14	固形燃料、缶切り
07	雨具、ヘルメット	15	眼鏡、コンタクトレンズ
08	下着・上着などの衣料	16	マッチ、ライター

平成21年度市総合防災訓練

今年度は、震度6弱の地震を想定し、三和・下米田地区の2カ所で行います。大切な人を守るため、防災訓練に参加しましょう。

◇とき 10月25日(日) 午前8時～11時15分

◇ところ 三和小学校グラウンド・下米田小学校グラウンド

◇内容 避難訓練、炊き出し訓練、応急手当訓練、救急救命訓練、バケツリレー訓練 など

